

ごあいさつ

皆様には、日頃より静岡県信連をお引き立ていただきまして厚くお礼申し上げます。

このたび「2014年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたのでご案内いたします。

本誌では、JAバンク静岡の概要、当会の経営方針のほか、業務内容や近年の業績に至るまで広く取り上げ、皆様にわかりやすくお伝えすることを心がけて作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当会は昭和23年の設立以来、農家組合員・地域の皆様の繁栄及び地域社会の発展に貢献することを使命に事業を展開してまいりました。これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、ご高承のとおり、平成25年度の日本経済は、4月の日銀政策決定会合にて決定した異次元の金融緩和政策により、リーマンショック以降続いた円高局面の終焉、株高基調となり、経済は緩やかな回復となりました。さらに年度末にかけては消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、個人消費を押し上げました。金融面では、政府・日銀の金融緩和政策の影響を大きく受け、調達金利及び運用金利ともに低位で推移しました。

農業を巡る情勢では、平成25年5月、政府による農林水産業の成長産業化と地域経済の活性化、雇用と所得の増加を基本とした「攻めの農林水産業」が発表され、また、平成25年12月に発表された「農林水産業・地域の活力創造プラン」では①国内外の需要拡大、②農林水産物の付加価値向上、③生産現場の強化、④農村の多面的機能の維持・発揮により、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指すとしています。

一方、JAグループにおいても、今後、更なる自己改革に取組み、農業の成長産業化に向けて機能発揮していきます。

こうした情勢下、当会は静岡県信連グループの将来ビジョン(10年後の姿)の実現に向け、中期経営計画(平成23～25年度)の最終年度として、農業専門金融機関としての機能発揮、安定的かつ確実な利益還元、JA目標達成のための機能還元の3つの役割発揮により、静岡県信連グループとして農業者・JA・地域の負託に応えるよう努めてまいりました。また、平成26年度につきましては、将来ビジョン(10年後の姿)の実現に向けた第二期目と位置付けた中期経営計画をスタートし、農業専門金融機関・地域金融機関として更なる「存在価値」の追求に邁進する所存でございます。

今後におきましても、引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月



経営管理委員会会長 鈴木 道也

代表理事理事長 堀内 達也